



Gakugei

東京学芸大学「教員養成教育の評価等に関する調査研究」フォーラム  
2013(平成25)年3月20日 TKPガーデンシティ品川

# 「アクレディテーション・システム」を担う組織 ーそのあり方を探るー

「教員養成教育の評価等に関する調査研究」プロジェクトの検討内容報告

渡辺恵子  
(東京学芸大学・教員養成評価プロジェクト)  
keikow@u-gakugei.ac.jp





## 前提(1) 「アクレディテーション・システム」をどう捉えるか

- ◆ 「各教員養成機関における内部質保証システムを機能させることによって教員養成教育の質的改善を図る」という志を共有する教員養成機関が、**自発的に参加し、相互に学び合い**ながら教員養成教育の質を高めていく**ボランタリーなコミュニティ**
- ◆ 各教員養成機関の**大学としての自律性、専門性、多様性を尊重する**
- ◆ 評価基準や評価手法などを、教師教育研究や大学評価研究等学界の知見を取り入れ、時代の変化をもとらえて常に進化させていく

	課程認定	大学機関別 認証評価	「アクレディテーション・システム」
評価の対象・指標	免許種ごとに認定される課程を、外在的なインプット指標やプロセス指標で評価	大学全体を対象とし、インプット指標やプロセス指標に加えて、大学の内部質保証にも着目して評価	教員養成教育を行う学部を対象とし、大学という自律的な組織として内部質保証を機能させているかどうかに着目して評価
各教員養成機関の関わり方	認定を受けることが必須の条件	大学の一部として7年に1度の評価が制度化	参加は任意





## 前提(2) 「アクレディテーション・システム」の果たす機能

「アクレディテーション・システム」

各教員養成機関

内部質保証を  
機能させる



評価組織

内部質保証が機能していることを  
外部から認証(ア  
クレジット)



国公立を  
通じた  
教員養成教育  
の質的向上



学校教員の  
力量の向上

学校教育や教員養成  
教育に対する信頼を  
担保

「アクレディテー  
ション・システム」  
への信頼を獲得



社会





## 組織の基盤(1) 海外の事例

### アメリカ

NCATE(全米教師教育資格認定協議会)は非営利・非政府の組織。構成組織は、①教師教育組織、②教員組織、③州・地方政策決定者組織、④専門分野協会の4つの領域からなる。

### 韓国

KEDI(韓国教育開発院)は政府関係法人。教員養成機関評価事業は教育科学技術部の委託事業。第3周期の便覧開発委員会は①教師教育組織の代表、②教育評価と教員教育の学会長、③KEDIの開発チームに所属する大学教員、④教育科学技術部課長、KEDI研究員からなる。

### イギリス・スコットランド

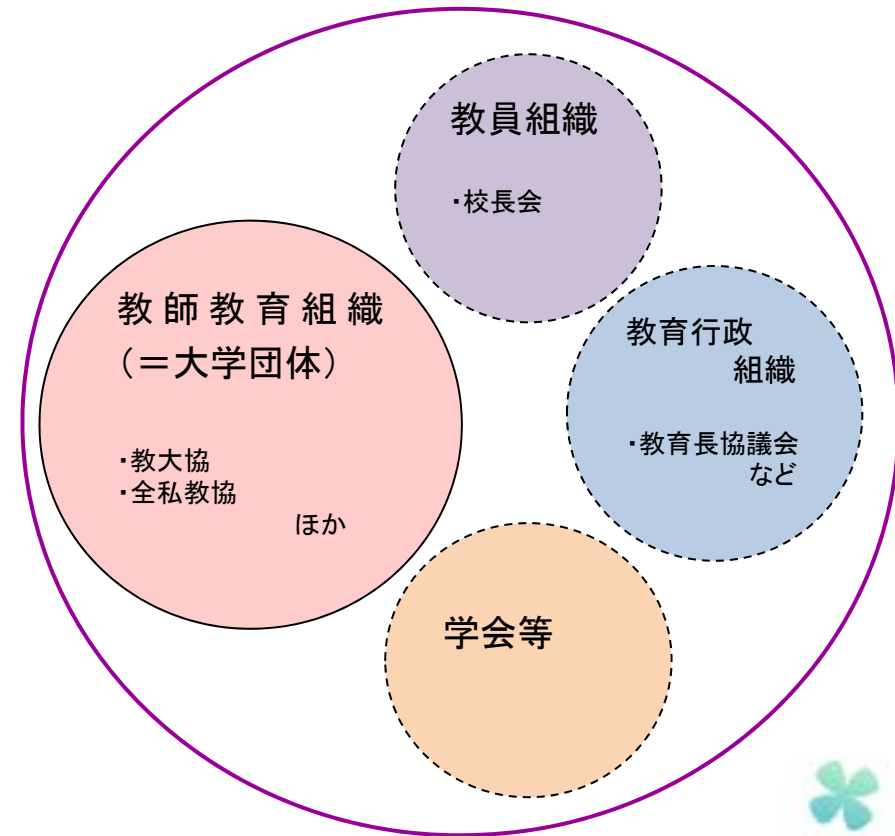
GTCS(スコットランド教職総評議会)は、公立学校に勤務する全教員が登録する教職関係者の自律的職能団体。カウンシル・メンバーは①選挙によって選出される登録教員(幼児学校、初等学校、中等学校、継続教育機関、教員養成課程を有する大学の教員)、②関係諸機関・団体(教育分野のステイクホルダー。地方当局や大学団体、保護者団体を含む)、③前記以外の個人(保護者や企業など教育関係者以外)からなる。



## 組織の基盤(2) 「ピア」+「ステイクホルダー」の全国組織

- ◆ 教員養成機関の主体的な取組みという性質、相互に学び合うことによる全体の質的向上という機能から、ピア・レビューが中心となる。このため、**アクレディテーション組織の中核として教師教育組織(=大学団体)**を位置付ける
- ◆ 教員養成教育において欠かせない**教育実践現場との連携を図る観点**から、**教育行政組織**(都道府県教育長協議会など)や**教員組織**(校長会など)の協力も得る
- ◆ 教員養成教育の**専門性を重視して****学会等**の協力も得る

アクレディテーション組織イメージ図

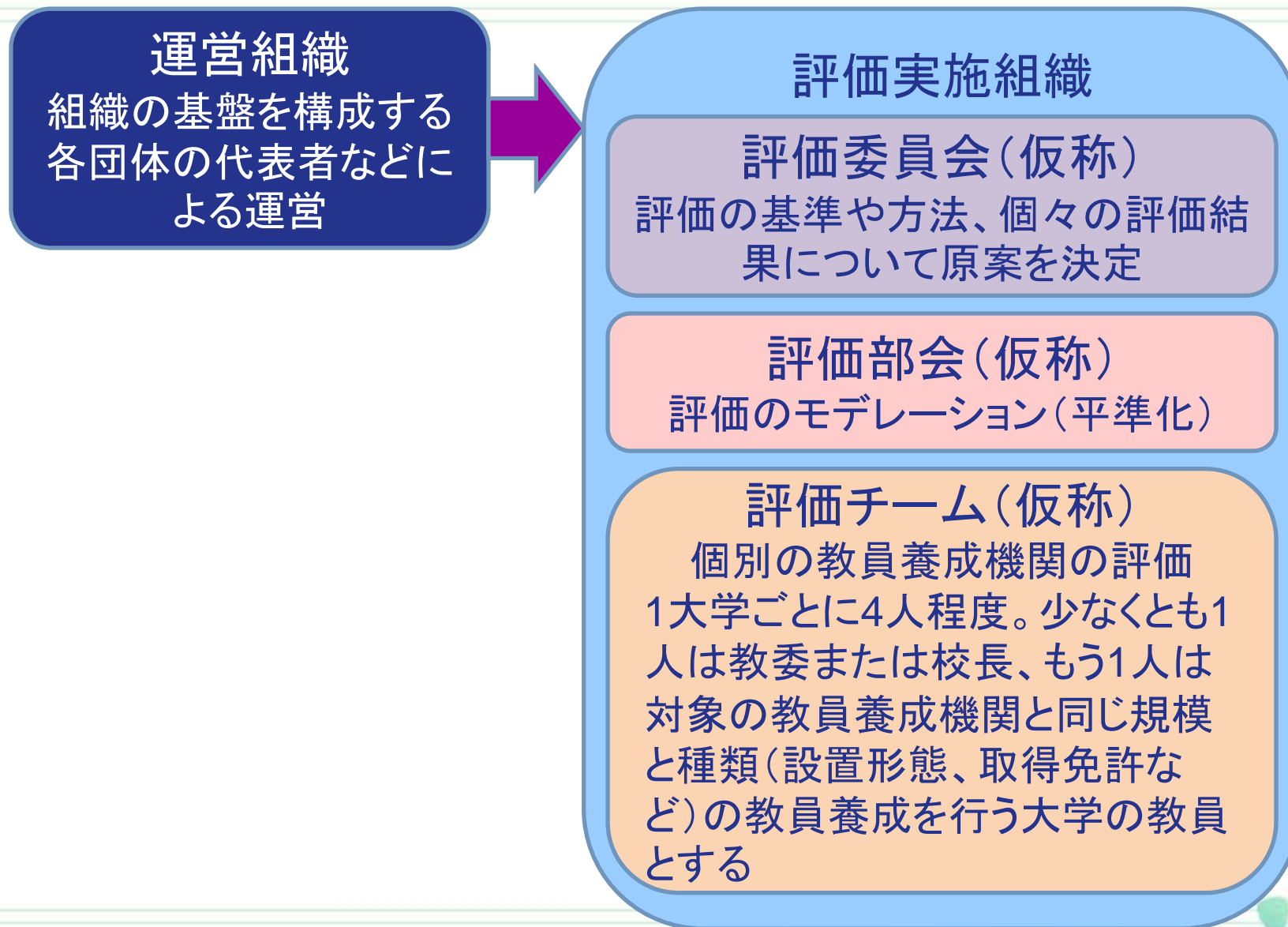


組織としての協力を得るか組織構成員個々の協力を得るかは、組織の意向を反映する





## 組織構造





## 評価者の重要性

- ◆ 評価者の中心は教員養成教育に直接携わっている**大学教員**とする
- ◆ 評価者となる**教育委員会関係者**や**校長(経験者)**については、学校現場と教員養成教育の両方の事情が分かる人材が望ましい
- ◆ 評価者研修の実施(事例を基にした模擬評価ワークショップ形式も)
- ◆ 利益相反ポリシーが必要

### 国内の他の評価機関の事例

大学教員中心の場合と大学教員と専門職の組合せで行っている例が多く、それ以外の者を含む場合は特定のバックグラウンドを求めるのではなく、幅広い人材を若干名加えている程度。

### 海外の教員養成教育評価の事例

大学教員と学校教員、地方教育行政組織だけでなく、教育関係以外(市民団体、保護者団体など)を含んでいる例もある。







## 国内の評価機関・海外の教員養成教育評価における評価者の例

大学基準協会	各大学の評価を直接行う大学評価分科会および大学財務評価分科会のほとんどは正会員大学の推薦に基づく大学教員。大学財務評価分科会には公認会計士が正規メンバーとして所属し、大学評価分科会は若干名の外部有識者（高校教員、マスコミ、企業）がオブザーバーで参加している。
大学評価・学位授与機構	各大学の評価を直接行う評価部会のほとんどが大学教員。若干名、病院の部長や研究所の所長などがいる。
JABEE	各プログラムの審査にあたる3人の審査員は全て学会が選出。ワシントン・アコードに基づき、うち少なくとも1名は企業に所属する者であることが必要（工学系の学会では企業の研究者も多数会員となっているため、ワシントン・アコードを遵守した選出が可能）。
教員養成評価機構	各教職大学院の評価を直接行う評価専門部会はその部会に6名の評価員がおり、4名は教職大学院の教員又は教員OB。1名は校長経験者、1名は民間、マスコミ等幅広い人材から、としている。4名の教職大学院の教員のうち、1~2名が実務家教員。
ABEST21	各経営分野専門職大学院の評価を直接行う専門審査小委員会(Peer Review Teams : PRT)の構成員は全て大学教員。
日弁連法務研究財団	各法科大学院の評価を直接行う評価チーム（原則5名）は、原則として法科大学院の専任教員が2~3名、法曹であって法科大学院における教育経験を有する者又はその教育研究活動に識見を有する者が2~3名とされている。

アメリカ NCATE	各教師教育機関を評価するユニット評価者は、構成組織からの推薦による。基本的に①教師教育組織、②教員組織、③州・地方政策決定者組織/専門分野協会の3つのカテゴリーの人数が均等になるように構成されている。
韓国 KEDI	第2周期評価までの評価委員は大学教員中心だったが、「閉じた評価」との批判を受け、第3周期評価では、教員養成機関に所属する教員及び退職者、教育行政担当者、市・道教育庁奨学士（日本における「指導主事」に相当）等の教育専門職、教育研究機関の研究者、教員団体、市民団体及び保護者団体関連人材等を含めることを可能とした。
スコットランド GTCS	実際にア krediyetasyon を行うのは、カウンシルメンバー（3~4名程度）と外部メンバー（少なくとも2名。多くの場合、大学教員）。カウンシルメンバー37名のうち、約半数が学校教員、約2割が教育分野のステイクホルダー（大学以外）、約2割が教育関係者以外、約1割が大学関係者。







## 財政構造



### 必要となる支出

- ① 評価実施に要する費用(評価者への謝金や旅費など)
- ② 評価実施を支えるための費用  
(事務所借り上げや事務職員雇用に要する費用など)
- ③ 研究開発のための費用



### 収入の確保方策

- ◆ 評価手数料
- ◆ (アクレディテーション・システム参加校からの年会費)
- ◆ (組織の基盤を構成する各団体からの拠出)





## 今後の課題

---

---

### (1) 評価の具体的な実施方法の検討

～評価基準と評価組織の両方の観点から～

- a) 各教員養成機関に作成を求める自己分析書の内容
- b) 訪問調査の実施方法
- c) 評価チームの構成

など

### (2) 「アクレディテーション・システム」をになうコミュニティづくり





ご清聴ありがとうございました

「ア kredィテーション・システム」へのお考えをお聞かせください

